

磨水IV カートリッジ

MAMIZU

取扱説明書

この度は「磨水IVカートリッジ」をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
この商品の機能を十分発揮させ、効果的にお使い頂くために必ずこの取扱説明書をよくお読み頂き、正しくご使用下さい。お読みになった後は大切に保管しておいて下さい。

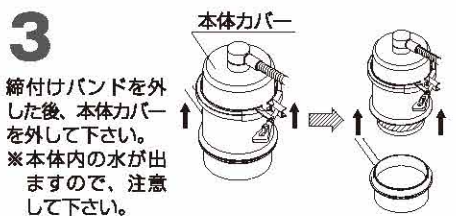
カートリッジ交換方法(J207P及びJ207P-R:カウンター据置タイプ)



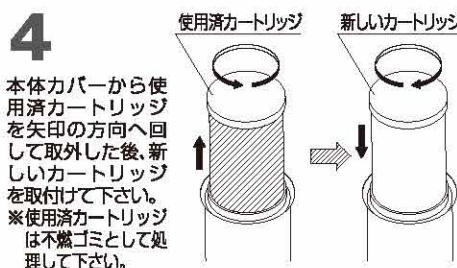
1
本体を、流し台等、水が流れても差し支えないところへ持っていきます。



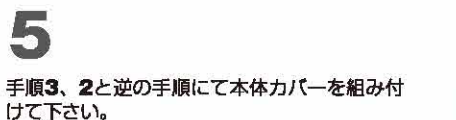
2
縮付けバンドの蝶ハンドルを矢印の方向へ回して緩めた後、手前に引いて外して下さい。



3
縮付けバンドを外した後、本体カバーを外して下さい。
※本体内の水が出ますので、注意して下さい。



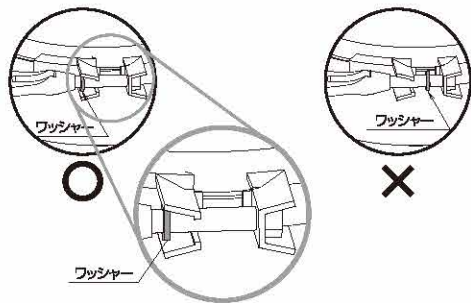
4
本体カバーから使用済カートリッジを矢印の方向へ回して取外した後、新しいカートリッジを取付けて下さい。
※使用済カートリッジは不燃ゴミとして処理して下さい。



5
手順**3**、**2**と逆の手順にて本体カバーを組み付けて下さい。

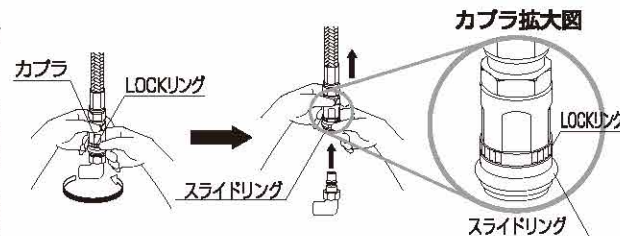
注意

蝶ハンドルを締める際には、ワッシャーが右図の位置に来るようにして下さい。
ワッシャーが正しい位置にないと正しく締付けができないことがあります。



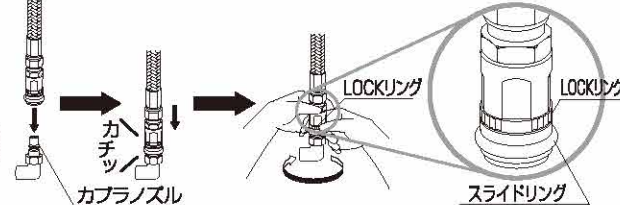
カートリッジ交換方法(J207P-B:アンダーシンクタイプ)

1
止水栓を閉め、本体からカブラを外します。
〈カブラの取外し方法〉
カブラのLOCKリングを矢印の方向に回してLOCKを外し、スライドラングを上へスライドさせることによって取外しできます。
※取外しの際にカブラから水がもれることがあるので、容器で受けるなど注意して下さい。



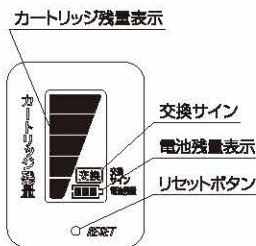
2
左記の「カウンター据置タイプ」の手順**1**~**5**と同様の手順でカートリッジを交換して下さい。

3
カブラを本体に取付けます。
〈カブラの取付け方法〉
カブラノズルにカブラを「カチッ」と音がするまで差し込み、LOCKリングを矢印の方向に回してLOCKします。



J207P-R及び、J207P-B「流量計付き」をご使用の場合は、カートリッジ交換後に下記の方法でカートリッジ残量表示のリセット(初期の表示に戻す)をして下さい。

表示部の説明



カートリッジ残量表示リセット方法(流量計付きの場合)



カートリッジ使用時の注意

注意

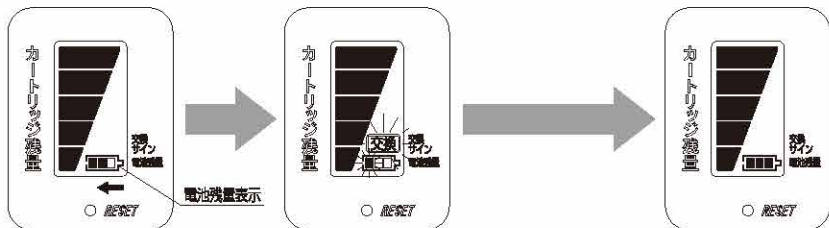
- 取付後、通水状態での水漏れがないことを確認して下さい。
- 新しいカートリッジに交換後、最初の通水で黒い水が出ることがあります。活性炭の成分ですので飲用しても害はありませんが、しばらく通水して黒い水が出なくなってからご使用下さい。
- J207P-R及びJ207P-B「流量計付き」をご使用の場合は、カートリッジ交換後は必ず流量計をリセットして下さい。

ご参考までに…

J207P-R及びJ207P-B「流量計付き」をご使用の場合、ボタン電池の「交換サイン」が表示された場合、電池交換は下記の方法で行って下さい。

電池の交換方法

ボタン電池の交換時期



電池が減る毎に「電池残量表示」レベルメーターが減っていきます。

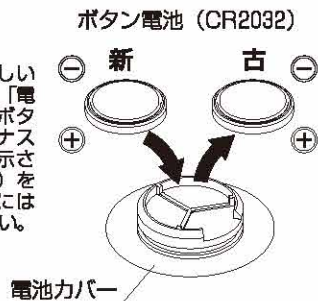
最後のレベルメーターと、「交換サイン」が点滅したらボタン電池の交換時期です。

ボタン電池の交換時期となりましたら、市販(CR2032)のボタン電池をご購入いただき、下記の交換方法に従ってボタン電池を交換してください。「電池残量表示」が初期値に戻ります。

1
本体横の「電池カバー」を硬貨等で矢印の方向に回して外してください。



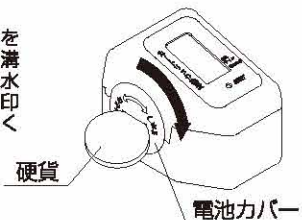
2
古い電池と新しい電池を交換し、「電池カバー」にボタン電池のマイナス面（文字が表示されていない面）を上にして確実にはめ込んでください。



3
「電池カバー」の「切り欠き」がある箇所を電池端子に合わせてはめ込んでください。



4
「電池カバー」を硬貨等でコイン溝が製品に対して水平になるまで矢印の方向に回してください。



※不十分な状態で使用すると故障する恐れがあります。

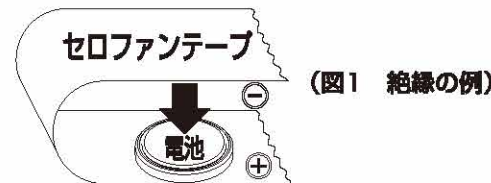
電池使用時の注意

警告

- 指定の電池 (CR2032) 以外は使用しないで下さい。
- 電池を火の中に入れてたり、加熱、分解しないでください。絶縁物などを損傷させたりして、電池を漏液、発熱、破損させるおそれがあります。
- 電池は、乳幼児の手の届かない所に置いてください。万一、電池を飲み込んだ場合は、すぐ医師に相談してください。
- 電池には強アルカリ性の溶液もしくは有機溶剤系の電解液が含まれています。この液が目に入ったときは、失明など障害のおそれがありますので、こすらずに多量の水道水などのきれいな水で十分に洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。
- 電池のアルカリ液もしくは有機溶剤液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますのですぐに多量の水道水などのきれいな水で洗い流してください。
- 電池の+と-を針金などで接続したり、また金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒を持ち運んだり、保管しないでください。電池がショート状態となり、過大電流が流れたりして、電池を漏液、発熱、破損させるおそれがあります。
- 電池は充電式には造られていません。充電すると絶縁物や内部構造などを損傷させたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。

注意

- 電池の+と-を逆にして使用しないでください。充電やショートなどで異常反応を起こしたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。
- 使い切った電池はすぐに機器から取り出してください。電池から発生するガスにより、電池を漏液、発熱、破裂させたり、機器を破損させるおそれがあります。
- 電池を水などで濡らさないでください。電池を発熱させるおそれがあります。
- この電池を保管する場所および廃棄する場合には、テープなどで端子部を絶縁してください(図1参照)。電池を混ぜた状態で保管したり、他の金属製のものと混ぜたりすると、電池がショートして、漏液、発熱、破裂するおそれがあります。



日本工業規格認証取得工場 ISO9001・14001認証登録

MIZSEI 株式会社 水生活製作所

【お客様窓口】 高富工場 品質保証部 〒501-2104 岐阜県山県市東深瀬94-2
TEL 0581-23-4132
受付時間 9:00~17:00(土・日・祝日は除く)